

町長行政報告



湯沢町長 上村清隆

本日（12月9日）より平成20年12月定例議会を開催します。9月14日、町民皆様に「(仮称)越後湯沢国際粒子線癌治療研究センター」の建設構想と、最先端癌治療の現状について説明会を開催しました。その際関係者より説明のあったこの計画に関連する「スーパー特区」は、残念ながら申請が認定されませんでした。しかし関係の方々からは、当初の計画どおり事業を進めていくとのお話をいただいています。一日も早く中子地内の

遊休地にこの施設が建設され、町に経済効果が波及される事を願っています。その実現への努力は惜しまない所存です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

昨年11月、教育委員会に行った諮問についての答申を、9月30日にいただきました。結果は「必要に応じて旧湯沢高校の一部を取得する」ということでした。内部で協議した結果、進行する少子化と今後の教育環境、授業の充実を考える中、将来小学校と保育園の統合は必要不可欠との観点から、旧湯沢高校跡地を取得すべきと判断しました。ご理解をいただきますようお願いいたします。

10月1日付で、湯沢町を含む3県7市町村にまたがる「雪国

観光圏」が観光庁の認定を受けました。魅力ある観光地に向け国の支援を受けながら、各種の事業展開が期待されます。またこれに先立ち「広域観光情報センター」がオープンし、観光圏認定案内所となりました。

公共事業の進捗状況ですが、まちづくり交付金事業で整備を進めています。基幹事業の土樽自然公園整備事業、および提案事業のホルルの生息地等に対する今年度の助成が11月末をもって完了しました。また町道主水楽町線歩道段差解消工事の繰越分は、9月末に完了し、今年度事業については約85%の進捗率となっております。

冬季国体組織委員会がいよいよ立

ち上げとなり、第1回の会議が11月1日、2日と開催されました。各競技のスタート順を決める予備抽選が行われ、競技本番に向けての準備が着々と進んでいます。開催まで残り2ヵ月余りとなりましたが、引き続きご支援ご協力をお願いします。



段差が解消された主水公園付近の歩道